

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	長寿命化橋梁修繕事業		部課コード	1602	予算事業科目	010802040172	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別事務	全部	010802040172	-		
	担当部署	道路整備課	所属長名(1次評価者)	池田 誠起							
	電話番号	088-823-9461	E-mail	kc-160200@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	大綱	05 まちの環	政策基本方針	利便性が高く快適な交通環境は、地方中核都市としての拠点性を発揮する上での基盤となるものであり、高速道路や交通ターミナルなど広域交通ネットワークの強化を図るとともに、都市内道路の整備を進めるなど、総合的な交通体系の確立をめざします。 また、環境にやさしい交通手段である路面電車やバスなど既存の公共交通の利便性を向上させるとともに、公共交通への利用転換を図ります。						
款	08 土木費	政策	03 便利で快適な交通網の整備								
項	02 道路橋梁費	施策	02 都市交通の円滑化								
目	04 橋梁維持費	区分	03 橋梁整備								

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	道路法第16条、第42条	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	長寿命化修繕計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民及び一般交通の用に供する者		
意図	どのような状態にしていくのか	老朽化する重要橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕により長寿命化を図ることによって、市民の大切な資産である道路ストックを長く大事に保全し、安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減を図る。		
手段	事業実施体制等	委託業務(橋梁点検、長寿命化修繕計画)	事業開始年度	平成23年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	橋梁点検を基に長寿命化修繕計画を策定し、計画的な修繕等を実施する。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	重要橋梁の調査・点検数	重要橋梁202橋の点検を平成25年度までに完了する。	
	B	長寿命化修繕計画の策定	平成25年度に実施完了する。	
	C			

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	重要橋梁の調査・点検数	目標			5	79	
			実績			6		
	B	長寿命化修繕計画の策定	目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			2,747	10,000		
		財源内訳	国費 (千円)			1,511		5,500
			県費 (千円)					
			市債 (千円)			1,100		
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)			136		4,500
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)			1,800	1,850		
		正規職員 (千円)			1,800	1,850		
			その他 (千円)					
			人役数 (人)			0.25		0.25
		正規職員 (人)			0.25	0.25		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)			0	0	4,547	11,850		
市民1人当たりコスト (円)			0	0	13		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)			339,714	339,130	337,875			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

橋梁点検によって、早期に健全度の確認が図られ、必要に応じ早期の対応が可能となる。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 8 月 31 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本市における橋梁の老朽化に伴い、効率的な整備・維持管理が求められている。長寿命化修繕計画を策定し、優先度・重要度に応じ計画的に修繕等を行うことによって、道路ストックを長く大事に保全し、安全・安心な道路サービスの提供を図る。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	老朽化した橋梁の保守管理は、市民の安全・安心を支えていく上で必要不可欠であり、限られた予算で計画的に修繕・架け替え実施するものである。橋梁の長寿命化を図ることは、計画的な予算執行とともに、ライフサイクルコストの縮減につながる。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	橋梁点検及び長寿命化修繕計画策定業務は、国の交付金事業により実施しており、内部事務以外は競争入札によって適正に業務委託できている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	道路ストックを長く大事に保全し、広く市民・県民に安全・安心な道路サービスを提供する基礎となるものであり、極めて公共性が高い。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 14 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおりに
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--